

シャチ 北西太平洋

Killer Whale, *Orcinus orca*



管理・関係機関

農林水産省

生物学的特性

- 最大体長・体重：雄 9.8 m・10 トン、雌 8.5 m・7.5 トン（体長：上顎先端～尾鰭分岐点）
- 分布：北太平洋を含む世界中の広い海域
- 寿命（平均）：雄 31 歳、雌 46 歳
- 成熟開始年齢：雄 13.0 歳、雌 14.1 歳
- 繁殖期・繁殖場：不明・不明
- 索餌期・索餌場：周年・特に高緯度域が重要と考えられる
- 食性：イカ類、硬骨魚類、軟骨魚類、海亀類、海鳥類、アザラシ類、アシカ類、鯨類
- 捕食者：サメ（幼獣）

利用・用途

水族館展示、ホエールウォッチング等

漁業の特徴

本種の捕獲は、かつて小型捕鯨業及びイルカ追い込み漁業でさかんに行われていた。小型捕鯨業による捕獲は、主に房総～三陸沖（47.6%）と北海道周辺（36.9%）であり（1948～1972年）、イルカ追い込み漁業による捕獲は、和歌山県太地で行われていた。

漁獲の動向

小型捕鯨業による捕獲は、戦後 1960 年代半ばまでは年間数十頭で推移してきたが、1966 年から 3 年間で年間 100 頭以上を捕獲して以降、急激に少なくなり、1972 年以降は年間多くても数頭程度で推移した。イルカ追い込み漁業による捕獲は、1963 年以降合計 87 頭であり、水族館用の生体捕獲も含まれていた。現在、これら漁業による捕獲は禁止されており、1997 年に試験研究目的の特別捕獲により 5 頭が捕獲されている。

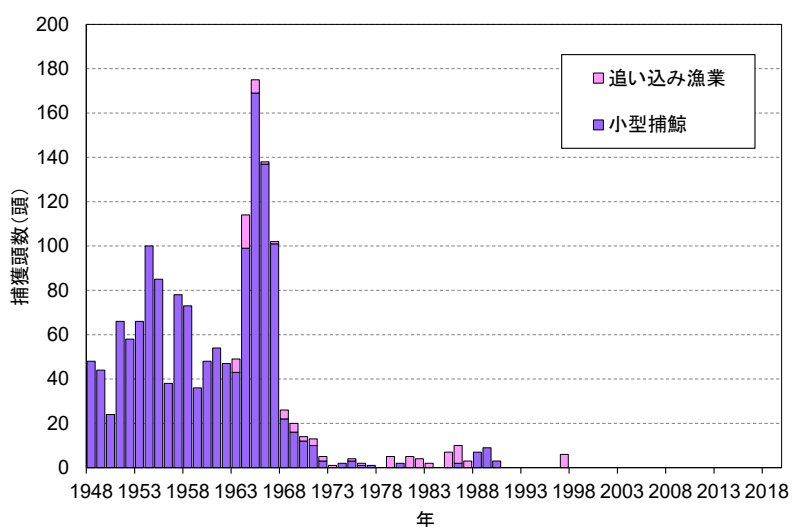
資源状態

北西太平洋（北緯 20 度以北、東経 130～170 度の太平洋とオホーツク海）における本種の生息頭数は、1992～1996 年、8～9 月の目視調査の解析から、北緯 40 度以北で 7,512 頭（CV=0.29）、北緯 20～40 度で 745 頭（CV=0.44）と推定された。また近年、空間分布モデルの手法を用いて、過去 24 年分の目視調査データを再解析した結果から、北太平洋における生息頭数は 19,521 頭（CV=0.21）と推定されている。北東太平洋では複数系群の存在が知られているが、北西太平洋における本種系群の情報は全くない。今後系群構造を明らかにして、系群単位の生息頭数とその動向を確認する必要がある。

管理方策

現在、捕獲は禁止されている。

シャチ（北西太平洋）の資源の現況（要約表）	
資源水準	調査中
資源動向	調査中
世界の漁獲量（最近5年間）	不明
我が国の漁獲量（最近5年間）	0頭
管理目標	継続的な個体数モニタリングを実施中
資源評価の方法	ライントランセクト法に基づく目視調査データ解析から資源量を推定
資源の状態	東経170度以西の北西太平洋のうち、北緯40度以北に7,512頭（CV=0.29）、北緯20～40度に745頭（CV=0.44）と推定
管理措置	商業捕獲は禁止
最新の資源評価年	2007年と2017年（資源量推定値の報告）
次回の資源評価年	未定



我が国のシャチ捕獲頭数の推移 (1997年は試験研究目的の特別捕獲)